

「そうじは だ・い・じ」 だと思ふのです

毎日、給食時間に「はわいのにっこりスター」の全校放送があります。これはあいさつやそうじに頑張っている人をもっともっと増やしたいという思いから始まったコーナーです。

「そうじは だ・い・じ」これは羽合小学校のそうじの合言葉です。

そうじは だ・・黙って い・・一生懸命 じ・・時間いっぱい

「そうじは黙々と、汗が出るくらい一生懸命、時間いっぱい最後までする。」

いつも子どもたちに、これを目標に取り組んでほしいと思っています。わずか10分のそうじ時間ですが、毎日の大切な学習の場なのです。

そうじを通して様々な子どもの姿が見えてきます。黙々とそうじに取り組む姿は、学級での学習の様子や心まで映し出しているようにみえます。私はそうじに頑張ることは、子どもたちにとって、次のことにつながると考えています。

自分の心を磨く

身の回りをきれいにすることは、自分の心を磨くことにつながります。そうじに頑張る子どもは、ゴミを軽い気持ちで捨てたりしません。反対に軽い気持ちで捨てる人は、ゴミを拾う人の心に気づきません。一生懸命そうじに頑張ることは、自分の心を美しくすると同時に、周りの人の心も穏やかにします。

仲間との信頼関係を築く

そうじに頑張る人は、人に嫌なことを言ったりしません。友だちと協力したり手伝ったりする行為は、誰からも好感を持って受け入れられ良い人間関係をつくっていきます。

周りに気づく目を養う

美しい環境に心を配ることは、いろいろなことに気づく目を養うことにもつながります。見過ごすようなことに気づいたり、様々な角度からものごとを見たり感じたりする心の目線が育ちます。「校長先生、きれいな夏の花が咲きましたね。」外そうじを手伝ってくれた子どもが言ってくれた言葉です。廊下に落ちているごみを拾って、ごみ箱に入れている子どもも見かけました。



「働くことが、人をつくる。」とも言われます。子どもたちの将来を見据えたとき、「何事もまじめに一生懸命頑張れること」は、一番大事にしなければならないことだと思います。

だから「そうじは だ・い・じ」なのです。

夕方の電話が留守電になります

教職員に関する法律の改正で、月45時間以上、年間360時間以上の時間外勤務が制限されることになりました。教職員の働き方改革の一つの取り組みとして、湯梨浜町では、小中学校にかかってくる夕方の電話を留守番電話にする準備が進められています。まだ夕方の何時から留守電にするのか、朝は何時からつながるようになるか、緊急の時はどうするのかなど詳細は決まっていますが、保護者の皆様の留守電設置にご理解とご協力をお願いします。